

子どもサミット新聞

発行

大館市子どもサミット
運営委員会

お問い合わせ

学校教育課学事係
☎43-7112

小中学生合同で充実した活動



一斉クリーンアップで地下道を清掃
(田代地域小・中学校)

子どもサミットは、市内の全小・中学校の子どもたちで共通のテーマを決め、よりよいまちづくりのために合同で活動しようと平成20年度から開催しています。3年目となる今年度も自分たちでテーマを決め、市内の全小・中学校で合同の取り組みが行われました。

よりよいまちづくりに貢献

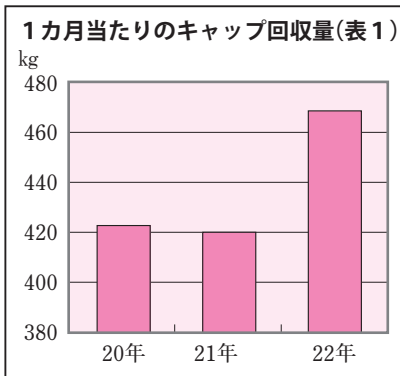
ペットボトルキャップ回収運動・クリーンアップ

に呼び掛けて合同で取り組みを進めました。

「地区と連携」広がる活動の輪

ペットボトルキャップ回収運動は、各校で回収方法を工夫しながら年間を通じて行われま

子どもサミットは、市内29小・中学校(小学校19、中学校10)から選ばれた男女1人ずつのサミット委員で構成され、全員で「大館市のために何が出来るか」を考えてテーマを決め、取り組み内容を話し合います。これまでの2年間は、ペットボトルキャップ回収運動とクリーンアップ活動を行ってきましたが、22年度も継続しようということになり、全小・中学校



地区の皆さんと一緒にごみ拾い
(城西小学校)

た。今ではこの取り組みも地域に浸透し、回収量が増えてきています。

今年度は、これまで以上に住民の皆さんの協力があり、回収量が大きく伸びて5kgを超えました(表1、約470kg×12カ月≒約5600kg)。

また、クリーンアップ活動は、7月9日を一斉活動日に設定して行われました。各校それぞれが、より一体感のある活動を目指して、同じ地区の小・中学校合同で実施したり、地区の皆さんと一緒にごみ拾いや分別をしたりして交流を図るなど、活動の輪を広げる取り組みが見られました。

ベンチ5台をハチ公小径に寄贈

全学校から集められたペットボトルキャップは再利用するため、リサイクルをしている「秋田ウッド(株)」に運んだところ、報奨品としてベンチを5台もら

うことになりました。ベンチは、ペットボトルキャップなどの廃プラスチックと廃木材を原料にリサイクルされた、再生木材で作られたものです。運営委員会では、どのように活用していくかを話し合い、市民の皆さんが集まる「ハチ公小径」に寄贈することにしました。市民の皆さんには、イベントなどで有効に活用してもらいたいと思います。

市民の皆さんへ 一言

合同活動を通して、私たちが感じたこと考えたことを運営委員会でもまとめました。小・中学生から市民の皆さんに提言します。

- ①ペットボトルキャップ回収運動に協力してください。来年度も、回収運動を継続して行います。各地域の皆さんは、ご協力をお願いします。回収方法は地域の小・中学校に問い合わせてください。
- ②ごみのポイ捨てはやめて。クリーンアップ活動で集めたごみのうち、特に目立ったのはお菓子の袋とたばこの吸い殻です。子どもはお菓子の袋を、大人はたばこの吸い殻を。みんなポイ捨ての無い、きれいなまちにしましょう。